

事務連絡
令和元年9月30日

各都道府県・市町村生涯活躍のまち担当課長 殿

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

生涯活躍のまちアドバイザー研修の開催について（依頼）

平素より地方創生の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、先般閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」（以下「基本方針2019」という。）においては、「生涯活躍のまち」の更なる推進に向けた支援等を強化するため、「都道府県ごとに広域アドバイザーを養成し、広域的な支援体制を構築すること等を通じて、取組に未着手の地方公共団体の新たな掘り起こし等を進める。」「都道府県におけるアドバイザーを活用した支援体制の強化を図るため、国において、アドバイザーの養成方法等について検討するとともに、質の高いアドバイザー研修を実施する。」こととしたところです。

そこで、今般、下記のとおり「生涯活躍のまちアドバイザー研修」を開催いたしますので、趣旨及び内容をご理解の上、受講者の推薦方よろしくお取り計らい願います。ご多用中で恐縮ですが、対応いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 本研修の趣旨について

- 「生涯活躍のまち」に関する取組は「移住・住み替え」、「就労・起業」、「生涯学習やリカレント教育」、「多世代交流」、「地域包括ケアシステムとの連携」など様々な要素があり、取組を進める市町村にとっては、①「生涯活躍のまち」に関する全体的な知見や基本的な制度等に関する知見と②個別の取組を進めるための専門的な知見の両方が求められます。
- 今後、市町村における「生涯活躍のまち」の取組を一層普及・促進するためには、すでに取組に着手している市町村はもとより、取組を検討中の市町村に対しても、その取組を推進する上で抱えている個別の課題等に対して、上記の知見を踏まえたきめ細やかな支援を提供することが必要です。

参考資料 1

- そこで、基本方針 2019 に基づき、各都道府県の圏域ごとに、こうした支援を提供できる者を「生涯活躍のまち推進アドバイザー」として養成し、市町村レベルの関係者の要望に応じて、アドバイザーを中心とした有識者を派遣できるような広域的な支援体制の構築を目指すものです（別添イメージ図参照）。

- 2 日時 令和元年 10 月 23 日（水） 13:00～10 月 25 日（金） 15:00（予定）

- 3 場所 北海道自治会館 第 1 会議室
（〒060-0806 北海道札幌市北区北 6 条西 7 丁目 5 - 3）

- 4 受講人数 50 人程度（各都道府県・市町村から複数名の推薦をお願いいたします。）
※なお、受講者数によっては人数を制限させていただく場合があります。

- 5 受講対象者等
 - (1) 「生涯活躍のまち」に関するアドバイザー人材候補者
 - (2) 「生涯活躍のまち」に関連する取組を推進する意向のある都道府県・市町村職員
 - (3) 「生涯活躍のまち」に取り組む事業者

注 1) 受講対象者については、都道府県・市町村職員や事業者はもとより、「生涯活躍のまち」の取組に関連する専門的知識を持つ者を、地域再生協議会の構成員なども参考に、関心を持つ法人（株式会社等）、地域の大学、地域で活動する NPO 法人、地域の金融機関、商工会または商工会議所、都道府県公安委員会、地元商店街、地域住民、医師会などの地域の医療・介護関係者、障害者就労支援団体、住宅産業協会、地域の仏教会など、広い範囲から選定してください。

注 2) アドバイザーは、上記のような一定の専門性を有する者に対し、本研修を受講していただく形で養成し、都道府県内にアドバイザーグループを形成していただくことを想定していますが、こうした体制の構築には時間がかかることから、まずは、本研修の受講によるアドバイザーの積極的な養成をお願いいたします。

- 6 受講対象者の推薦
各都道府県・市町村は受講対象者を選定し、別添の受講申込書に必要事項を記載のうえ、10 月 11 日（金）までにメールで送付してください。

7 参加費用、研修カリキュラム等

研修参加費は無料です。詳細は、別紙「生涯活躍のまちアドバイザー研修 開催概要」をご確認ください。

8 今後の研修の実施予定等

本研修は、今後2回（12月大阪、2月東京）開催する予定です。各都道府県におかれましては、今後の受講予定や地域課題等も踏まえ、体系的なアドバイザーの養成をご検討ください。

（連絡先）

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

「生涯活躍のまち」担当参事官補佐 照井（てるい）、星加（ほしか）

電話：03-6257-1414（直通）

e-mail：nihonban-ccrc.n2c@cas.go.jp, hochi.takayuki@joca.or.jp

生涯活躍のまちアドバイザー研修 開催概要

1. 開催目的

「生涯活躍のまち」を推進していく専門人材を養成するための研修カリキュラムの開発にフィードバックするため、試行的に行うモデル研修です。

2. 実施体制

主催者：(一社) 生涯活躍のまち推進協議会
(事業委託元：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局)

3. 研修会場

北海道自治労会館 第1会議室
(〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3)

4. 実施日

令和元年10月23日(水)～10月25日(金) 計3日間

5. 募集人数

50人程度(各都道府県・市町村から複数名の推薦をお願いいたします。)
*なお、受講者数によっては人数を制限させていただく場合があります。

6. 募集対象者

- (1) 「生涯活躍のまち」に関するアドバイザー人材候補者
- (2) 「生涯活躍のまち」に関連する取組を推進する意向のある都道府県・市町村職員
- (3) 「生涯活躍のまち」に取り組む事業者

・研修日程の全期間の出席が難しい方は、参加申込書にその旨ご記入下さい。

*ただし、全期間の出席が可能な方の参加を優先させていただきます。予めご了承ください。

注) 対象者については、都道府県・市町村職員や事業者はもとより、「生涯活躍のまち」の取組に関連する専門的知識を持つ者を、地域再生協議会の構成員なども参考に、関心を持つ法人(株式会社等)、地域の大学、地域で活動するNPO法人、地域の金融機関、商工会または商工会議所、都道府県公安委員会、地元商店街、地域住民、医師会などの地域の医療・介護関係者、障害者就労支援団体、住宅産業協会、地域の仏教会など、広い範囲から選定してください。

7. 参加費用及び留意事項

- ・研修参加費は無料です。
- *研修会場までの往復の交通手段、及び、宿泊先は参加者各自でご手配下さい。
- *研修期間中の食事代等、個人的費用は自己負担となります。

8. 申込方法及びお問い合わせ先

受講申込書を、メールに添付して、以下宛先まで送信してください。

【締め切り：10月11日（金）】

申込先：「生涯活躍のまち」担当 参事官補佐 照井（てるい）、星加（ほしか）

e-mail：nihonban-ccrc.n2c@cas.go.jp, hochi.takayuki@joca.or.jp

電話：03-6257-1414（直通）

9. スケジュール予定

第1日：10月23日（水）

No.	時 間	内 容
	13:00 ～13:15	開会あいさつ・オリエンテーション
【1】	13:15 ～14:00	基調説明 「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」 地方創生をめぐる状況とその理念、現在の地方創生に向けた取組状況や関連施策のひとつである生涯活躍のまち構想の基本コンセプト、目的やねらいなどについて理解し、推進アドバイザー一人材に求められる基礎知識を習得します。 <説明> 中野 孝浩（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）
		休憩（10分）
【2】	14:10 ～15:10	講演 「生涯活躍のまちのつくりかた」（仮） 生涯活躍のまちの取組を推進している上士幌町。全国に先駆けてプロジェクトを推進してきたその経験から、事業実現に向けての課題や目指している方向性を学びます。 <講師> 竹中 貢（北海道上士幌町町長）（予定）
		休憩（10分）

【3】	15:20 ～16:20	講演 「地域主導でつくりあげる生涯活躍のまち」(仮) ～人口減少社会に向き合う地域社会～ 住民参加型のプロジェクトに必要な仕掛けづくりやアイデアを豊富な事例をもとに紹介。地域住民をいかにして巻き込んでいくプロセスから、アドバイザーとしての役割やファシリテーション手法を学びます。 <講師> 西上 ありさ (studio-L)
		休憩 (10分)
【4】	16:30 ～17:30	座談会 「事例で読み解く生涯活躍のまち」 竹中氏、中野、西上氏、五十嵐氏 4者による座談会。先行事例を題材に、様々な立場の登壇者の観点から生涯活躍のまちづくりのプロセスを検証します。
【5】	17:30 ～18:00	質疑応答・本日の振り返り 事務連絡
【6】	18:00 ～20:00	情報交換会

第2日：10月24日(木)

No.	時間	内容
【7】	10:00 ～12:00	講義 「生涯活躍のまちで統合する政策課題とその対応」 地方創生に関連する施策で、高齢者の活躍が期待される領域として医療・職業・住環境(い・しょく・じゅう)をテーマに政策の方向性、補助金や事業について生涯活躍のまちの観点から紹介します。 テーマ(い) 地域包括ケアシステム、共生社会、健康増進 テーマ(しょく) Soceity5.0 地方都市における次世代産業育成 テーマ(じゅう) 住宅政策、まちづくり・エリアマネジメント <講師> 後藤 純(東京大学高齢社会総合研究機構 特任講師)
	12:00 ～13:00	昼休憩
【8】	13:00 ～14:00	講義・事例紹介 生涯活躍のまち推進マニュアルで提示された「住まい」「ケア」「活躍」「移住」「コミュニティ形成」の事例の紹介、構想を推進していくための体制づくり、ビジネスモデ

		<p>ルの事例等を学びます。</p> <p><講師></p> <p>堀田 直揮 (JOCA 事務局長)</p>
	14:00 ～14:15	休憩 (15分)
【9】	14:15 ～17:00	<p>講義・ワーク① ディスカッションテーマ</p> <p>「生涯活躍のまちを構想する」</p> <p>各自治体・各人のこれまでのまちづくりを振り返りながら、生涯活躍に向けてどのような取り組みが必要になるのかをグループワークを通じて考える。生涯活躍のまち構想の骨子検討を第2日目の目的とします。</p> <p><ファシリテーター></p> <p>後藤 純 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授)</p>
【10】	17:00 ～17:30	<p>質疑応答・本日の振り返り</p> <p>事務連絡</p>

第3日：10月25日 (金)

No.	時間	内容
【11】	10:00 ～11:00	<p>講義・ワーク② ディスカッションテーマ</p> <p>「生涯活躍のまちのモデルケースを分析する」</p> <p>生涯活躍のまち推進マニュアルで提示された「住まい」「ケア」「活躍」「移住」「コミュニティ形成」の事例の紹介、構想を推進していくための体制づくり、ビジネスモデルを分析します。</p> <p><ファシリテーター></p> <p>後藤 純 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授)</p>
【12】	11:00 ～12:00	<p>講義・ワーク③ ディスカッションテーマ</p> <p>「生涯活躍のまちに取り組む最初の一步を考える」</p> <p>住んでいる人にも移住してくる人にも、高齢者にも子育て世代にも魅力ある生涯活躍のまちの構想を実現するために、具体的にどのような事業を、どのような体制で進めていくか、検討します。</p> <p><ファシリテーター></p> <p>後藤 純 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任講師)</p>
	12:00 ～13:00	昼休憩

<p>【13】</p>	<p>13:00 ～14:30</p>	<p>講義・ワーク③ ディスカッションテーマ 「生涯活躍のまち構想へのアドバイス・ラッシュ」 参加者が検討した生涯活躍のまち構想及びはじめの一步について共有するとともに、お互いがアドバイスを通じて、全世代型生涯活躍のまちの理解を深めます。 グループごとに構想案とそのための一步を発表しイイネ！！とアドバイスを行いましょう。 <ファシリテーター> 後藤 純（東京大学高齢社会総合研究機構 特任講師）</p>
<p>【14】</p>	<p>14:30 ～15:00</p>	<p>まとめと振り返り 講評など</p>

生涯活躍のまちアドバイザーの活動イメージ（案）

まち・ひと・しごと創生基本方針2019

- 都道府県ごとに広域アドバイザーを養成し、広域的な支援体制を構築すること等を通じて、取組に未着手の地方公共団体の新たな掘り起こし等を進める。
- 都道府県におけるアドバイザーを活用した支援体制の強化を図るため、国において、アドバイザーの養成方法等について検討するとともに、質の高いアドバイザー研修を実施する。

【生涯活躍のまちアドバイザーの養成と支援スキーム（案）】

生涯活躍のまちアドバイザー研修（国開催）



様々な分野の専門家に「生涯活躍のまち」の知識を付与

【想定される受講者】

医療・福祉の専門家



▲▲の専門家



空き家対策の専門家



○○の専門家



ファイナンスの専門家



まちづくりの専門家



テキスト作成・バックアップ

生涯活躍のまち形成支援チーム
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

ニーズ把握と支援

A県「生涯活躍のまち」アドバイザーグループ（例）※目指す姿

医療・福祉の専門家



まちづくりの専門家



空き家対策の専門家



○○の専門家



ファイナンスの専門家



▲▲の専門家



研修を受講した専門家をリストアップ

市町村の課題に対応した専門家を派遣

A県

B市

（課題：空き家活用）

空き家対策の専門家



C町

（課題：資金調達）

ファイナンスの専門家



D市、E町、F村

（課題：拠点づくり）

まちづくりの専門家



【調査研究事業（令和元年7月から事業開始）】

○ 「生涯活躍のまちアドバイザー」養成のための研修テキスト見直し等に関する調査事業

- ・ 「生涯活躍のまちアドバイザー」を養成し、支援の更なる強化を図るため、前年度で作成した研修テキストを基に、試行的な研修や、有識者の意見等を踏まえ、アドバイザー養成研修テキストを完成させるとともに、当該テキストを踏まえた「生涯活躍のまちづくりに関する手引き」を改訂し、広く横展開を図る。

生涯活躍のまちアドバイザー受講申込書

【実施日: 令和元年10月23日(水)～10月25日(金)】

【申込締切: 令和元年10月11日(金)】

都道府県名 ()

研修参加日程	<input checked="" type="radio"/> 全日程	<input type="radio"/> 一部日程	(参加日:
10/23 情報交換会	<input checked="" type="radio"/> 出席	<input type="radio"/> 欠席	
受講者	フリガナ		
	氏名		
	所属		
	業種		
	保有資格、特技等		
「生涯活躍のまち」にかかる理解度等 ※該当する項目の数字に○をつけてください。			
1. 「生涯活躍のまち」については聞いたことがあるが、あまり理解していない。			
<input checked="" type="radio"/> 2. 「生涯活躍のまち」についてはまち・ひと・しごと創生本部のHP等で理解している。			
3. 「生涯活躍のまち」についてはまち・ひと・しごと創生本部のHP等で理解しており、その取組みに関わっている。			
都道府県担当者・連絡先			
氏名			
部局名			
電話番号			
e-mail			

※推薦者が複数となる場合は、本書を人数分作成してください。